

胸部大動脈瘤患者におけるフレイル指標と予後調査

1. 研究の対象

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に高知大学医学部附属病院心臓血管外科において胸部大動脈瘤に対する手術を受けた患者さんと手術を行わず外来経過観察をしている患者さんを対象とする。

2. 研究目的・方法

研究目的

胸部大動脈瘤は高齢者に多く、近年の高齢化に伴い、フレイルを有する患者の割合は増加している。胸部大動脈瘤治療においては、体への負担の少ない低侵襲治療であるステントグラフト内挿術（TEVAR）の普及により高齢・ハイリスク患者にも治療適応が拡大している一方で、術前リスク評価は依然として年齢や併存疾患に依存しているのが現状である。本研究は、胸部大動脈瘤患者における術前フレイル指標と術後予後との関連を明らかにすることで、高齢・フレイル患者に対する治療戦略の個別化および手術前後での管理の改善に貢献することを目的とする。

方法

当院での入院によって取得されたデータを元に個人情報を匿名化した上で、術前フレイル指標は術後の全死亡・術後合併症発生率・どのくらい自立して生活できるかの指標（機能的自立度）の予測因子となるか、統計を用いて調査します。また手術をした群と手術をしなかった群において生命予後が変わったのかを統計を用いて調査します。

研究期間

倫理委員会承認日から 2028 年 3 月 31 日

利用または提供を開始する予定日

2026 年 5 月 10 日～

3. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、生活習慣因子（喫煙）、症状、術式、手術時間などの診療情報。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、

研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所；高知県南国市岡豊町小蓮

電話番号；088-880-2375

担当者の所属・氏名；高知大学医学部外科学講座心臓血管外科 齋藤廉

研究責任者：国立高知大学医学部外科学講座心臓血管外科 齋藤廉